資料２

プローブ情報活用ワーキンググループ

プローブ情報活用ワーキンググループ（WG）の概要

設置趣旨

県内の自動車メーカーが保有するプローブ情報について、
交通事故の防止、事故数減少に資する交通安全施設の設置等の交通安全対策への活用を検討する。

構成員

トヨタ自動車株式会社 、中部地方整備局、愛知県警察本部 交通部交通総務課・交通規制課、
愛知県 道路維持課・産業振興課 、豊橋技術科学大学 松尾准教授（アドバイザー）、参画自治体

概要

自動車安全技術プロジェクトチームの下に、平成25年に設置されたWG。
トヨタ自動車株式会社が保有するプローブ情報を活用し、交通安全対策を実施する。
プローブ情報活用WGでは、１つの取組について３年サイクルで進める。

１年目

○ 対策箇所・対策内容の決定

プローブデータをもとに、
交通事故の危険性が高い道路を選定。

その後、現地調査を実施し、
効果的な交通安全対策を検討する。

２年目

○ 対策の実施

自治体の道路管理者及び愛知県警により、
道路への交通安全対策を実施する。

例： 路面表示の塗り直し
ポストコーンの設置　　など

３年目

○ 対策の効果検証

道路への交通安全対策を実施する前と後の
プローブデータを比較し、
交通安全対策の効果がどの程度あったかを
検証する。

目　次

1.　令和6年度 活動概要

2.　参画自治体の取組内容

- 【1年目】蒲郡市・知立市
- 【2年目】豊川市・東浦町
- 【3年目】春日井市

活動概要

3年サイクルの取組

１年目 蒲郡市・知立市	対策候補箇所の選定 → 現地調査 → 対策内容の決定
２年目 豊川市・東浦町	対策の実施・効果検証指標の検討
３年目 春日井市	効果検証

目　次

1.　令和6年度 活動全体概要

2.　**参画自治体の取組内容**

- **【1年目】蒲郡市・知立市**
- 【2年目】豊川市・東浦町
- 【3年目】春日井市

今年度の活動概要

蒲郡市　知立市

プローブ情報活用ワーキンググループへの参画決定（６月）

県内全自治体に対し、本ワーキンググループへの参画希望を照会。
参画を「希望する」と回答した９つの自治体のうち、**知立市・蒲郡市を参画自治体として決定。**

プローブデータの抽出（８～９月）

蒲郡市内・知立市内の 国道・県道・市道における、一時停止規制のある場所にかかわるプローブデータを
トヨタ自動車(株)が抽出。蒲郡市・知立市に提供した。

候補箇所の選定（ ～ 11月）

蒲郡市・知立市にプローブデータを提供。
現地調査候補箇所として**蒲郡市5か所・知立市3か所を選定**いただいた。

現地調査の実施（2月4日・2月5日）

蒲郡市・知立市の**現地調査を実施。**
参加者 ▷ 蒲郡市、知立市、愛知県警察本部交通規制課、蒲郡警察署、安城警察署、松尾准教授

対策箇所の選定

参画自治体が直接、自治体全域の「**一時停止率**」のデータを見て、対策箇所を選定する。
「 一時停止率 」のデータだけでなく、見通しの良し悪し、担当者の意見等を総合的に考慮し、選定する。

一時停止率

- データから一時停止率を把握。
- 現場における経験のみでは発見できない危険地点を発見し、対策することが可能。

見通しの良し悪し

- 見通しが良い道路では、 一時停止率が低くなる傾向があるが、優先的に対策を実施する必要があるとは限らない。
- 優先的に対策すべきは、
「**一時停止率が低く、見通しも悪い箇所**」。
- 現地調査の際にも見通しを確認。

担当者の意見

- 自治体連携型交通安全マネジメント
- データだけで選定するのではなく、周辺住民からの要望や自治体の意向等も踏まえ対策箇所を選定する。

現地調査箇所一覧

蒲郡市

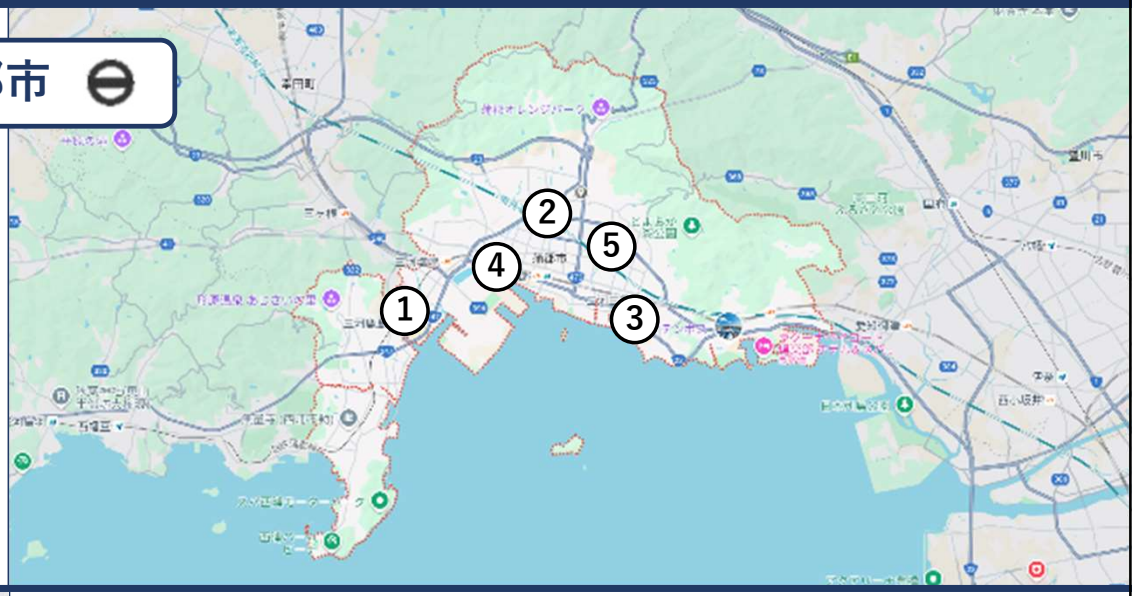
① 拾石町ゾウシダ61番地先交差点

② 宮成町260番地先交差点

③ 三谷町若宮114番地先交差点

④ 旭町316番地先交差点

⑤ 豊岡町前野56-1番地先交差点



知立市

❶ 西町落合地内交差点

❷ 八橋町大流地内交差点

❸ 新林町新林地内交差点

現地調査の実施結果

蒲郡市

現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由の概要（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	ひろいしちょう **拾石町ゾウシダ61番地先交差点**	・抜け道として利用されている ・小中学校通学路の危険箇所として報告があり、通行する児童生徒も多く、地元や学校としても危険箇所としての認識されている	**南→北** **北→南**
②	みやなりちょう **宮成町260番地先交差点**	・中学校の通学路・商業施設が近接しているため日中の交通量が多く、地元住民が頻繁に利用する ・北進の車に対して東側の見通しが悪く、東西を走行する車は見通しがよくスピードが出やすい傾向	**南→北**
③	みやちょう　わかみや **三谷町若宮114番地先交差点**	・中学校の通学路 ・西側と南側が一時停止かつ一方通行制限がある ・普段から慣れた車の通行が多く、一時停止率が非常に低い	**南西→北東**
④	あさひまち **旭町316番地先交差点**	・小学校の通学路・県道蒲郡碧南線の渋滞を回避する車の抜け道として利用されている・西から東への一方通行 ・公園の近くで児童生徒が集まりやすい。小学校から比較的近い。	**南→北**
⑤	とよおかちょう まえの **豊岡町前野56-1番地先交差点**	・中学校の通学路 ・４方向すべてが抜け道として利用されており、南進の車に対して西側の見通しが悪い ・一時停止率が低く通行台数が多い	**南→北**

01 選定理由と一時停止率データ

① 拾石町ゾウシダ61番地先交差点

選定理由

○当該箇所は**東西方向の倉田堀ノ内１号線と、南北方向のゾウシダ４号線・大反田岡１号線**との交差する交差点であり、**塩津小学校・塩津中学校の通学路**である
○**倉田堀ノ内１号線**は**抜け道**として利用されている
○通過台数は**ゾウシダ４号線**が**大反田岡１号線**の４倍近い数値となっているが、一時停止率は大反田岡１号線の方が低い
○通学路の**危険箇所として報告**があり、通行する**児童生徒も多い**ことから、**地元や学校としても危険箇所としての認識がある**ため選定

一時停止率データ

方向　南→北

時間帯	通行台数	一時停止率
6時ー 9時	125台	29.6%
9時ー16時	1,023台	25.2%
16時ー20時	717台	32.2%
20時ー 6時	452台	27.4%
全体	2,317台	28.1%

方向　北→南

時間帯	通行台数	一時停止率
6時ー 9時	10台	50.0%
9時ー16時	466台	25.1%
16時ー20時	20台	30.0%
20時ー 6時	0台	ー%
全体	496台	25.8%

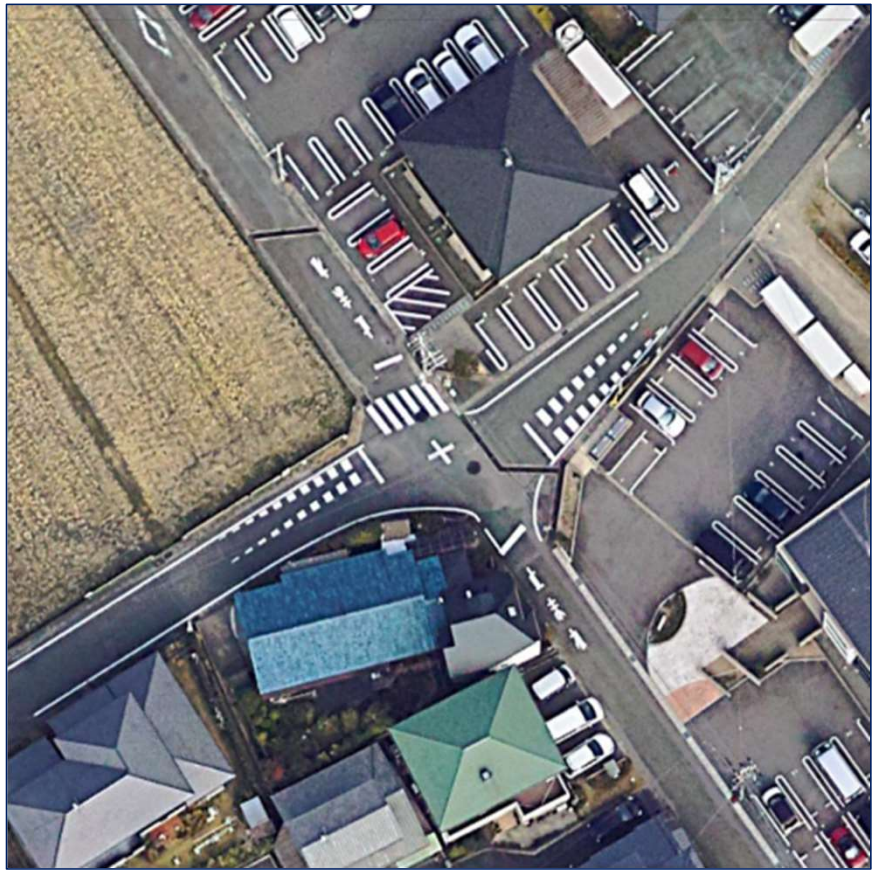
02 対策案

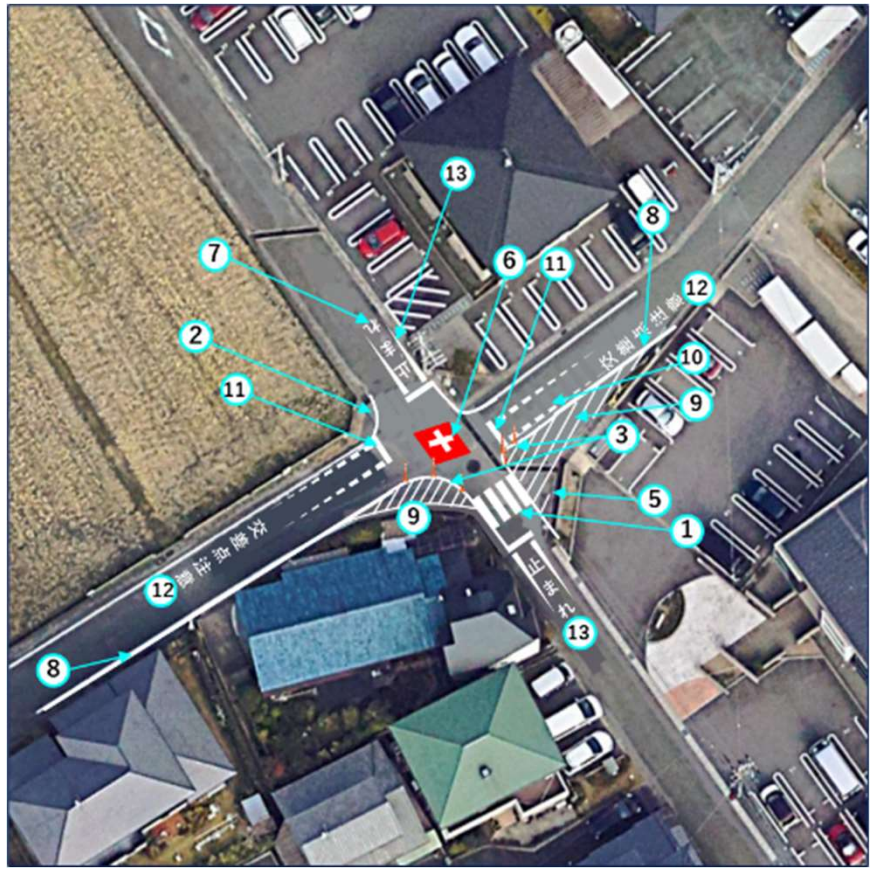
① 拾石町ゾウシダ61番地先交差点

番号	対策機関	対策内容	実施可否	実施時期（予定）	備考
①	警	横断歩道の移設	○	8~12月	北西側から南東側へ、横断歩道の幅は3.0m
②	市	外側線のワイド化	○	未定	交差点内４か所全て
③	市	ポストコーンの設置	○	未定	３本×交差点内２か所（南西・南東）
④	市	誘導破線の設置	×		東西方向
⑤	警	一時停止標識の更新	○	8~12月	南側
⑥	市	交差点マーク（十字）塗り直し、赤塗り	○	未定	交差点マークを囲むように赤塗り
⑦	警	「止まれ（路面標示）」の前出し	○	8~12月	北側、①の横断歩道移設に伴う
⑧	市	外側線の引き直し	○	未定	南側のみ、東西方向のチャンネルを合わせるため
⑨	市	横断歩道の前後にゼブラで滞留場所を設置	○	未定	
⑩	市	エスコート塗り直し、引き直し	○	未定	東側のみ、主道路と⑧で引き直した外側線に合わせる
⑪	市	停止指導線の一短縮、前出し	○	未定	主道路、路面の強調表示の幅と揃える
⑫	市	「交差点注意（路面標示）」の設置	○	未定	主道路（東側・西側）
⑬	警	「止まれ（路面標示）」の強調表示の設置	○	8~12月	従道路（南側・北側）

03 対策後 イメージ

① 拾石町ゾウシダ61番地先交差点





現地調査の実施結果

知立市

現地調査実施箇所一覧

	実施箇所	選定理由の概要（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	にしまちおちあい **西町落合地内交差点**	・地元町内会より速度抑制対策の要望あり　　・小学校の通学路 ・道路がカーブしていてさらに電柱やフェンスなどで視界不良 ・3方向で一時停止規制あり	**北→南**
②	やつはしちょうおおながれ **八橋町大流地内交差点**	・小学校の通学路 ・地元町内会より一時停止で止まらない車が多く、一時停止対策をしてほしいと要望あり	**北→南**
③	しんばやしちょうしんばやし **新林町新林地内交差点**	・小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯に大勢の児童が通学 ・過去に通学路の安全対策要望があり、東西線にグリーンベルトを設置しているが、依然として一時停止率が低い	**北→南**

01 選定理由と一時停止率データ

② 八橋町大流地内交差点

選定理由

〇来迎寺小学校の**通学路**に指定されている
〇**地元町内会より**一時停止で止まらない車が多く、**一時停止対策をしてほしいと要望**があった。

一時停止率データ

方向 北西→南

時間帯	通行台数	一時停止率
6時ー 9時	65台	35.4%
9時ー16時	1,972台	49.7%
16時ー20時	1,219台	25.3%
20時ー 6時	10台	20.0%
全体	3266台	40.2%

方向 北東→南

時間帯	通行台数	一時停止率
6時ー 9時	277台	37.5%
9時ー16時	1,007台	30.8%
16時ー20時	60台	30.0%
20時ー 6時	–	–
全体	1,344台	32.1%

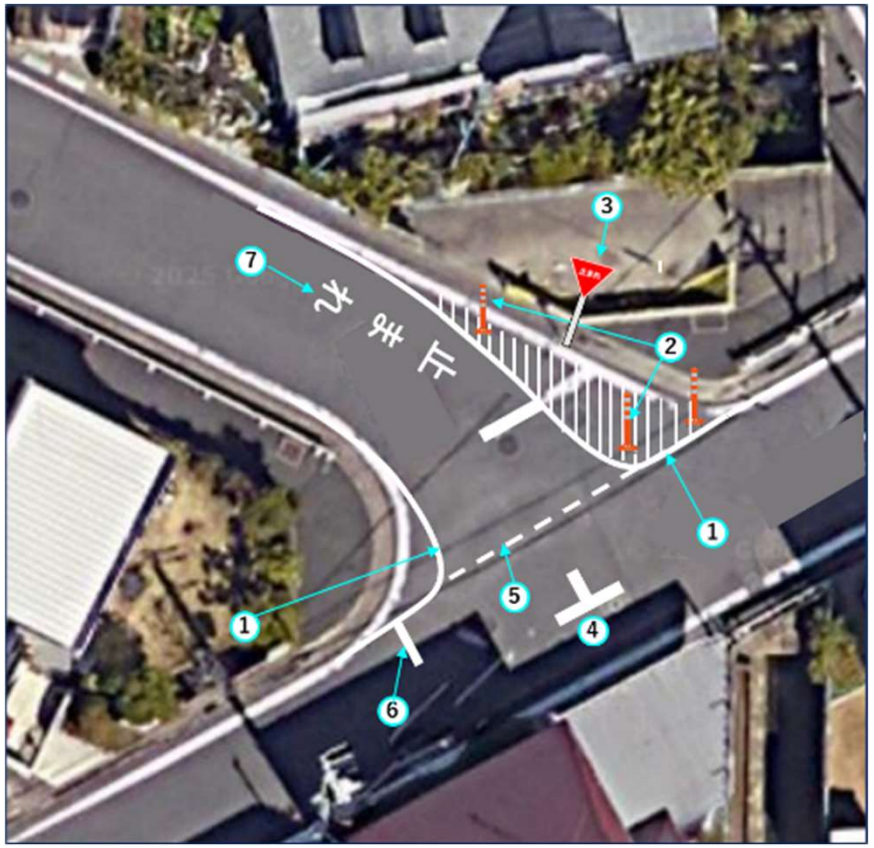
02 対策案

② 八橋町大流地内交差点

番号	対策機関	対策内容	実施可否	実施時期（予定）	対策の効果・ねらい、備考
1	市	外側線 設置・ゼブラ化	○	6～7月	交差点が直角に交わるように外側線をふくらませる ゼブラで塗りつぶし
2	市	ポストコーン設置	○	6～7月	
3	警	「止まれ」標識の更新	○	8月～12月	標識の位置は変更なし
4	市	交差点マーク[T字]引き直し	○	6～7月	垂直に角度変更
5	市	誘導破線設置	○	6～7月	
6	市	停止指導線の角度変更・引き直し（西側）	○	6～7月	優先道路に垂直な角度に変更
7	市	「止まれ」路面標示の位置変更	○	6～7月	警→市へ、道路法第95条の2により市で引き直す

03 対策後 イメージ

② 八橋町大流地内交差点



目　次

1.　令和6年度 活動全体概要

2.　参画自治体の取組内容

- 【1年目】蒲郡市・知立市
- **【2年目】豊川市・東浦町**
- 【3年目】春日井市

対策の実施状況について

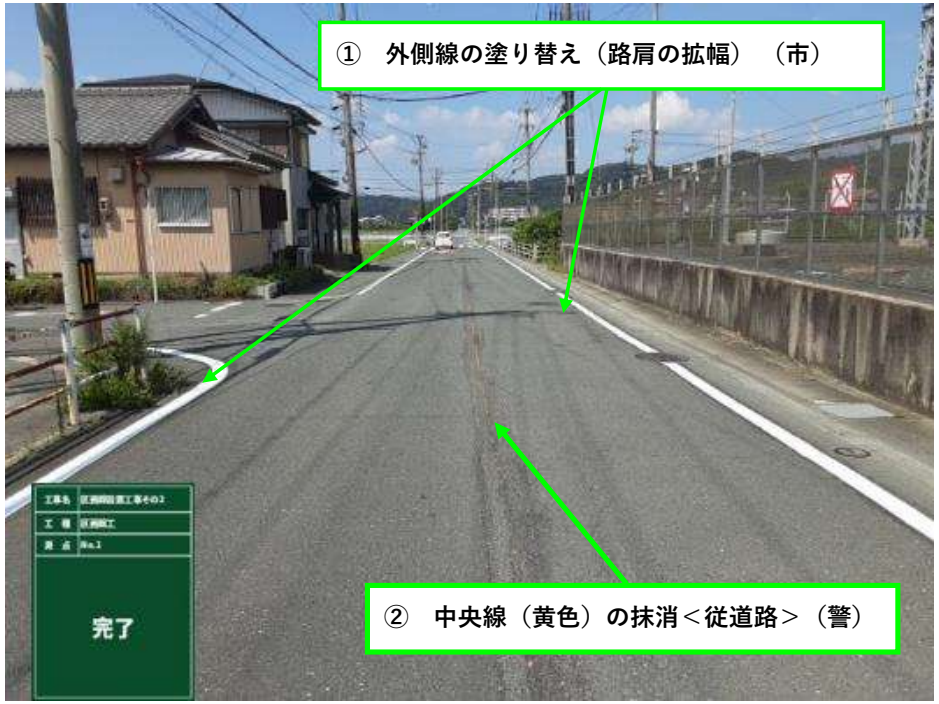
豊川市

対策箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	おおさきちょうてんじんまえ **大崎町天神前地内交差点** 完了	・東三河環状線開通（R5.5.30～）に伴い、当該交差点の信号機が撤去され、東西道路が一時停止路線となった。 ・上記の影響なのか、直近３か月の中で５回事故が発生。	東 → 西
②	い　なちょうぬいどの **伊奈町縫殿地内交差点** 完了	・小坂井西小学校の通学路に指定されており、朝の時間帯（６時～９時）大勢の児童が通学している。	東 → 西
③	やわたちょうや　ごろう **八幡町弥五郎地内交差点** 完了	・東三河環状線から豊川市民病院、イオンモール豊川、八幡駅へ向かう車が増加している。 ・主要地方道国府馬場線（姫街道）へ抜ける道で利用が増えている。	西 → 東
④	かなやちょう **金屋町地内交差点** 完了	・付近に大型商業施設があり、通過車両が多い。 ・４方向中、３方向が一時停止の規制となっている。 ・過去に車の単独事故あり	東 → 西 西 → 東 北 → 南
⑤	まさおかちょうながれた **正岡町流田地内交差点** 完了	・数年前に開店した複合商業施設駐車場に出入りする車が休日に多く、交差点付近が混雑する。 ・筋違いの交差点となっている。 ・特別な交差点安全対策はない。 ・過去に車と車の出会い頭の事故あり	南 → 北 北 → 南

03 対策前後の比較

① 大崎町天神前地内交差点

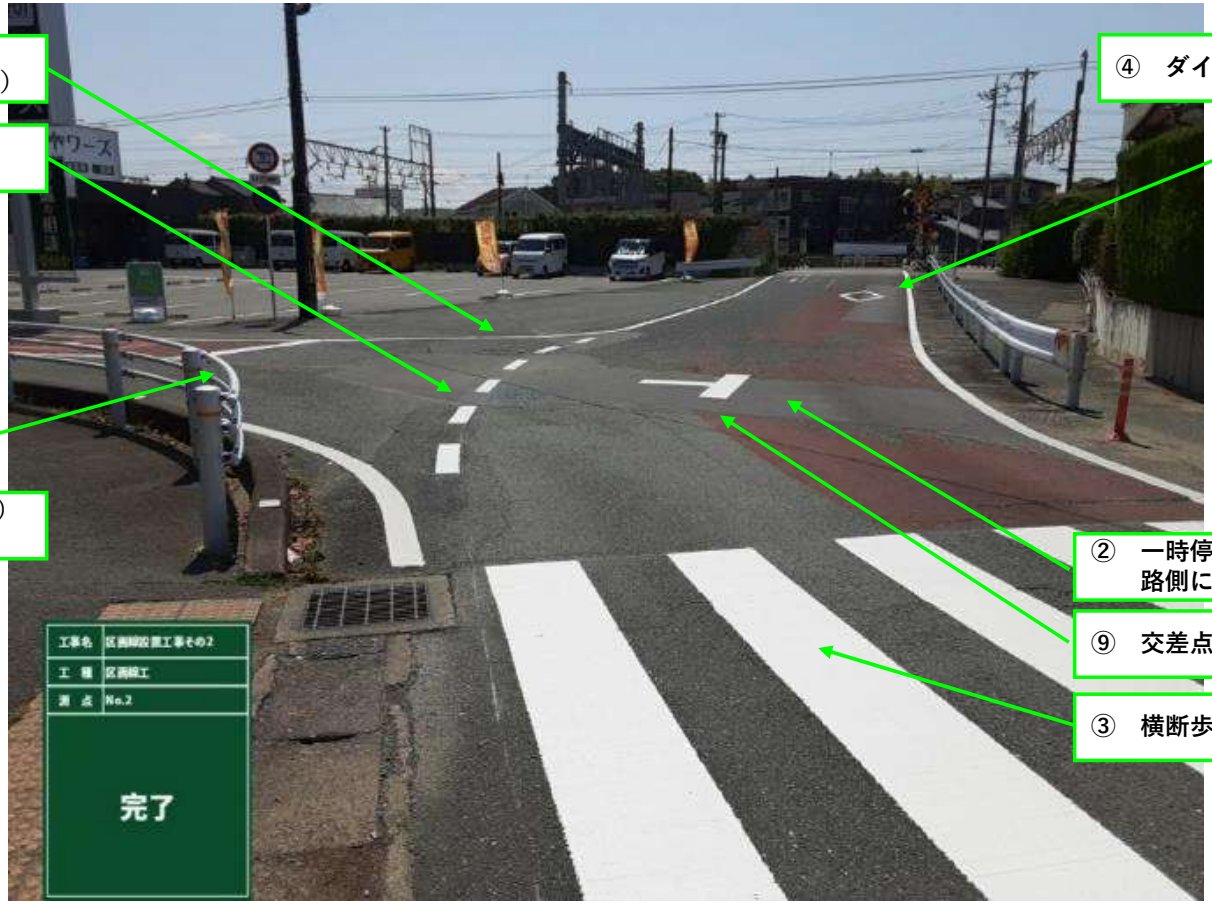


03 対策前後の比較

② 伊奈町縫殿地内交差点

⑥ 外側線の塗り直し（市）
⑦ 交差点南東のコーナーの角度変更（市）

⑧ 誘導破線の設置（市）



④ ダイヤマークの塗り直し（警）

① 止まれ(路面標示)を赤で囲み強調（市）
⑤ 停止線の位置を下げる（警）

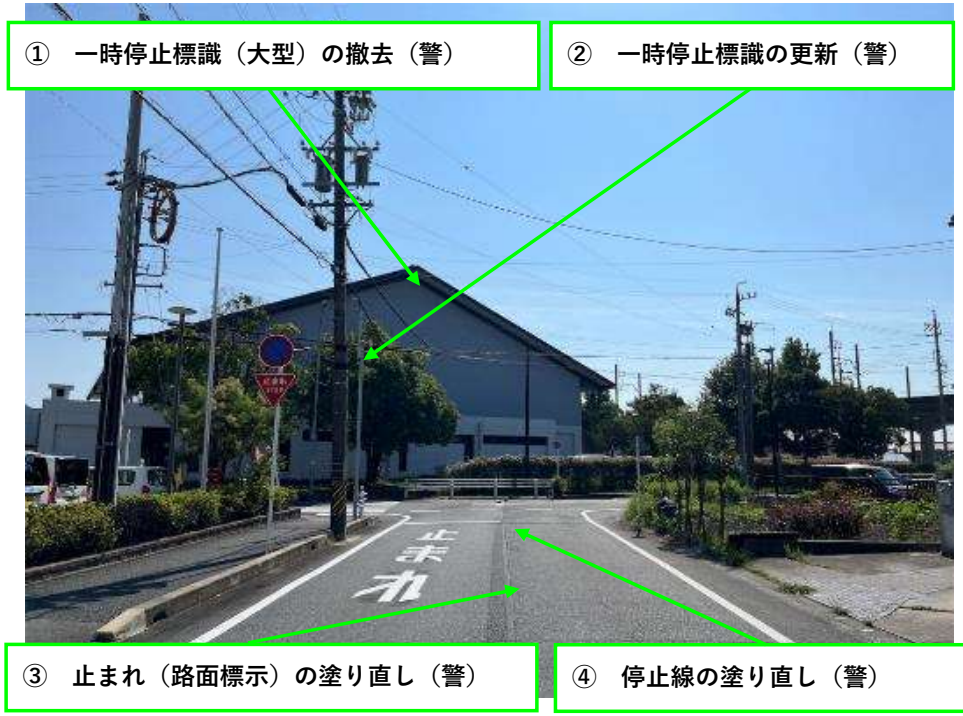
② 一時停止標識（大型）を撤去、
路側に一時停止標識を設置（警）

⑨ 交差点マーク（T字）の設置（市）

③ 横断歩道の塗り直し（警）

03 対策前後の比較

③ 八幡町弥五郎地内交差点

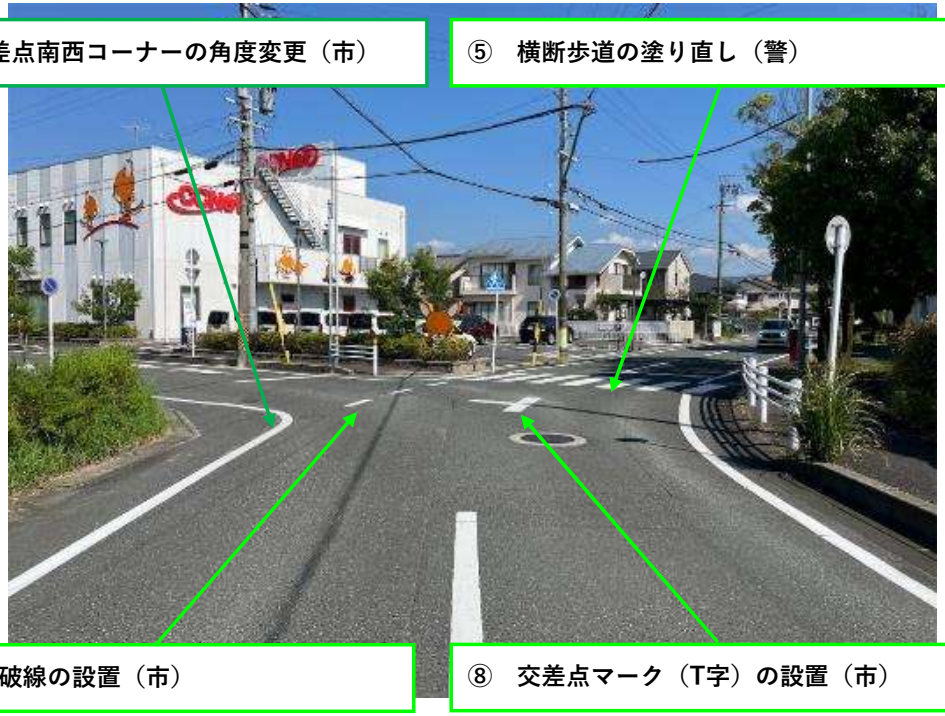


① 一時停止標識（大型）の撤去（警）

② 一時停止標識の更新（警）

③ 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）

④ 停止線の塗り直し（警）



⑦ 交差点南西コーナーの角度変更（市）

⑤ 横断歩道の塗り直し（警）

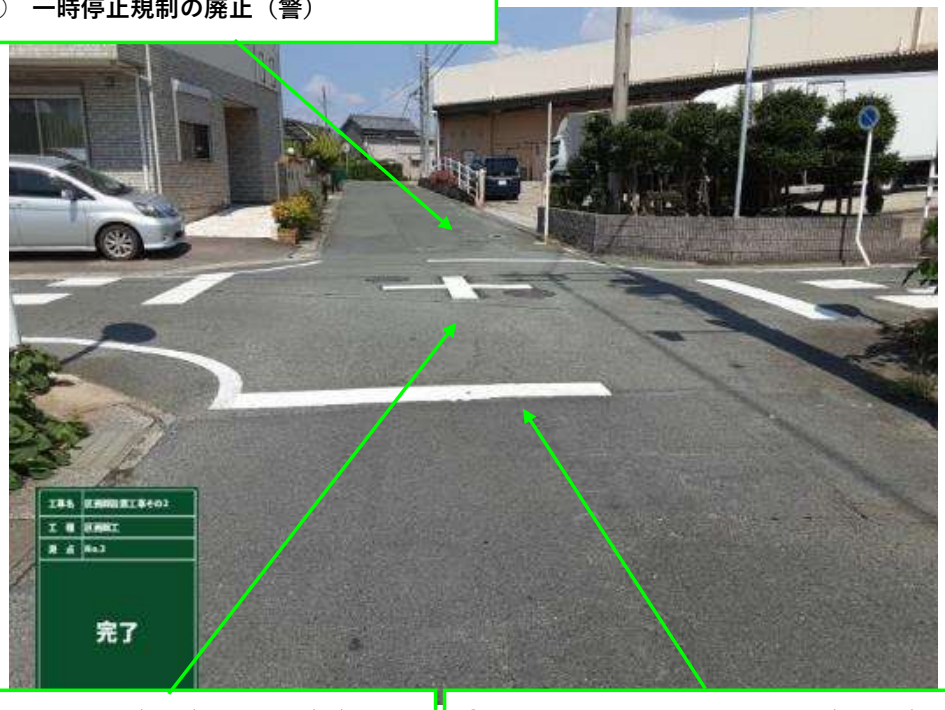
⑥ 誘導破線の設置（市）

⑧ 交差点マーク（T字）の設置（市）

03 対策前後の比較

④ 金屋町地内交差点

① 一時停止規制の廃止（警）

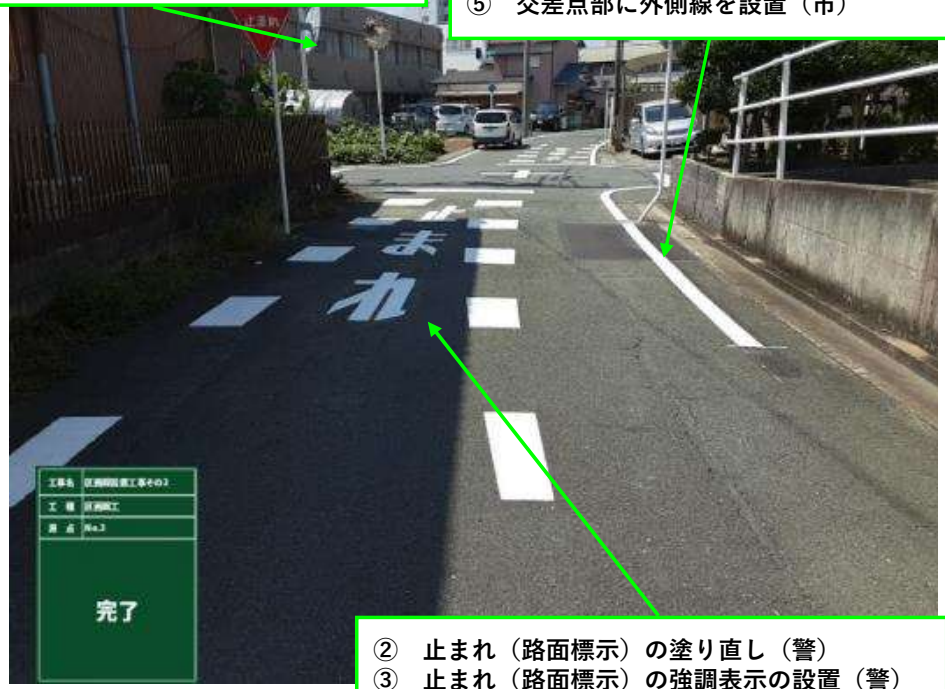


④ 交差点マーク（十字）の設置（市）

⑥ 停止指導線の設置＜北進＞（市→警）

⑦ カーブミラーの向き調整（市）

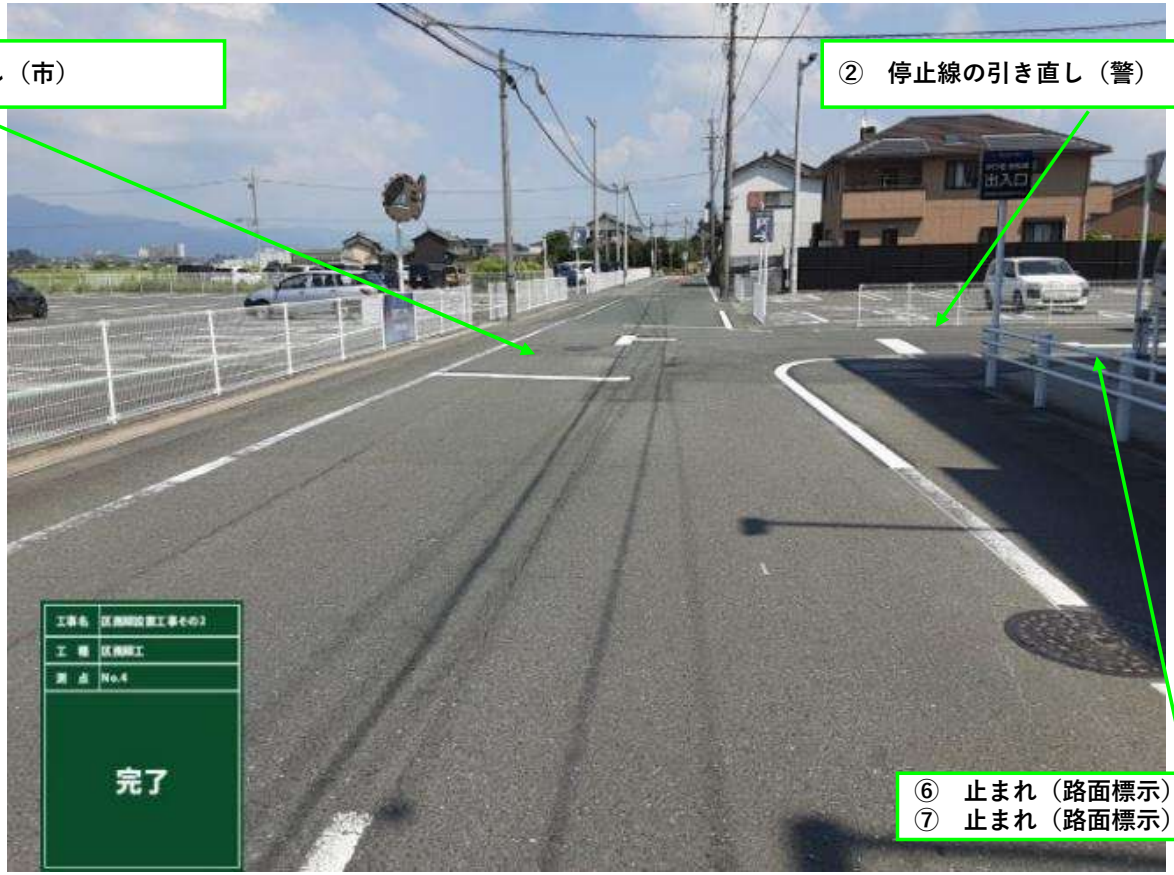
⑤ 交差点部に外側線を設置（市）



② 止まれ（路面標示）の塗り直し（警）
③ 止まれ（路面標示）の強調表示の設置（警）

03 対策前後の比較

⑤ 正岡町流田地内交差点



対策の実施状況について

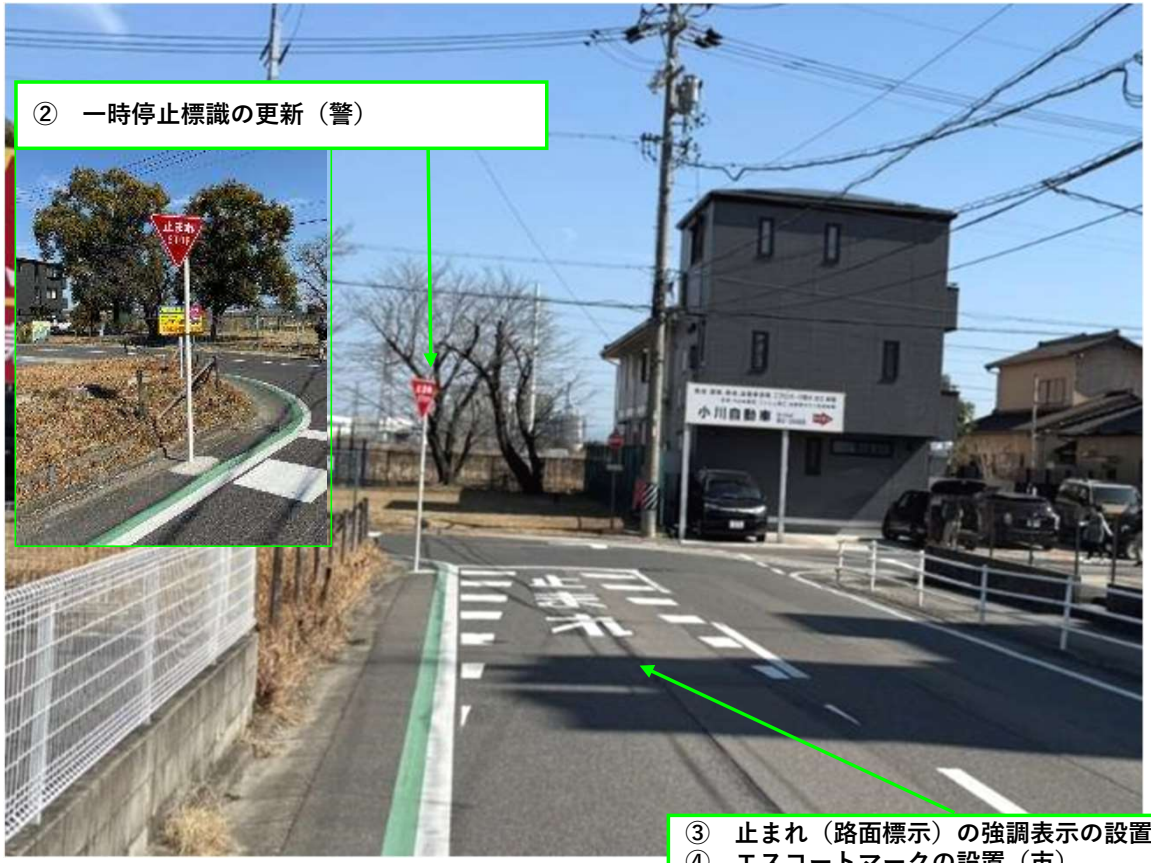
東浦町

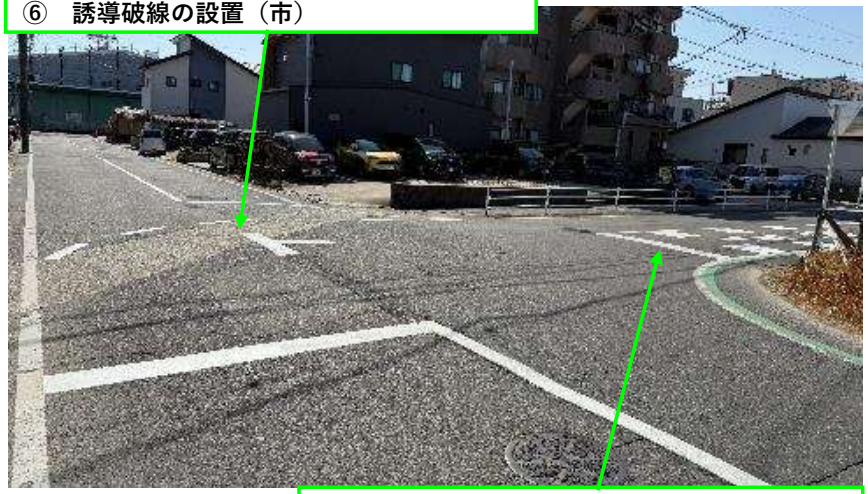
対策箇所一覧

	実施箇所	選定理由（交差点の状況）	一時停止率が低い方向
①	もりおかまえだ **森岡前田地内交差点** 完了	・プローブ情報での一時停止率が悪く、通行台数も多いため	西 → 東
②	おがわかりまたにく **緒川苅又二区地内交差点** 完了	・交通事故の発生件数が多い交差点であるため （H28：1 件，H29：1 件，H30：2 件， R2：2 件，R3：1 件，R4：2 件）	東 → 西 西 → 東
③	おがわにしかまいけ **緒川西釜池地内交差点** 完了	・通り抜け車両が多く小学校の通学路に指定されている路線であるため ・地元区より車両の速度抑制及び一時停止対策の要望を受けていたため	南 → 北 北 → 南

03 対策実施後（R7.3.1撮影）

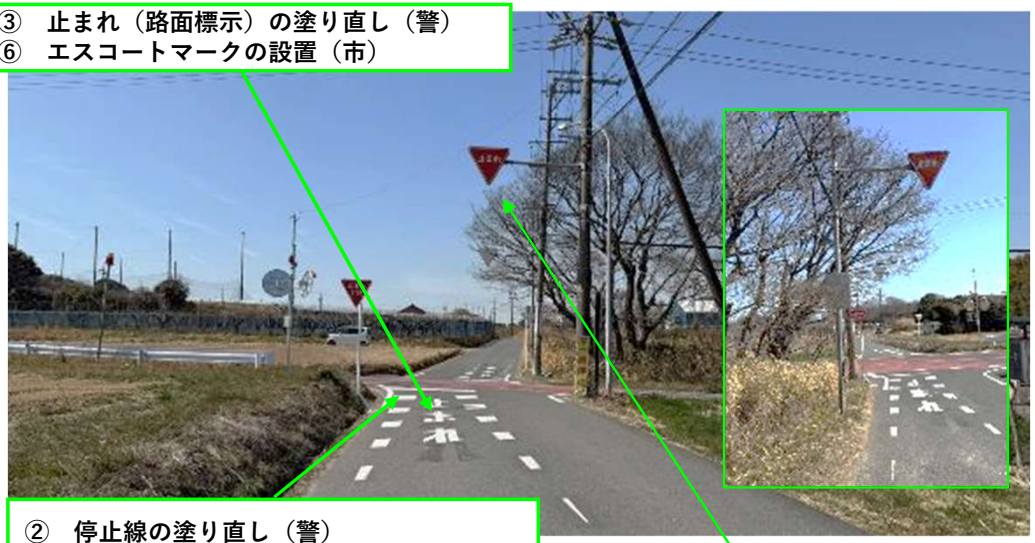
① 森岡前田地内交差点

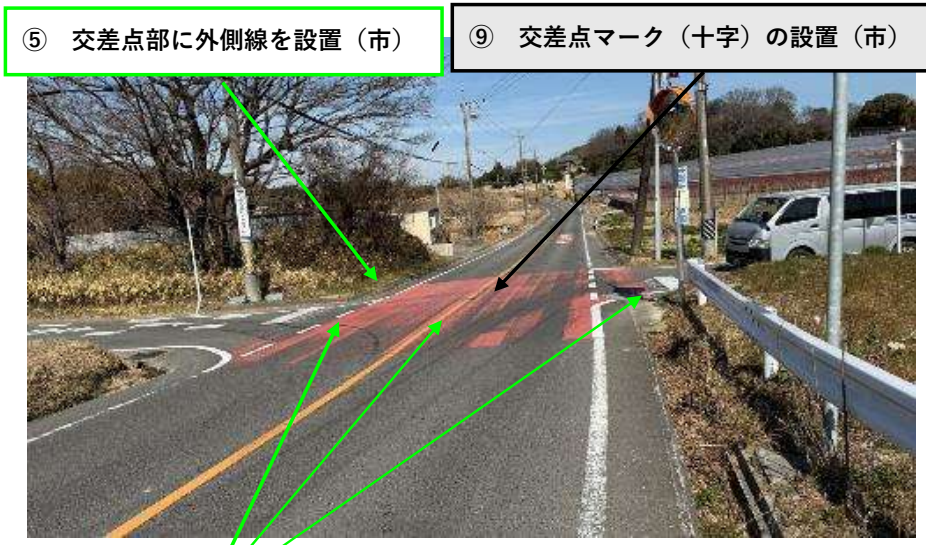




03 対策実施後（R7.3.1撮影）

② 緒川字苅又二区地内交差点





03 対策実施後（R7.3.1撮影）

③　緒川字西釜池地内交差点

南進

①　一時停止標識の更新
（＋速度制限標識と一本化）（警）

北進

②　一時停止標識の更新
（＋南側に移動）（警）

目　次

1.　令和6年度 活動全体概要

2.　参画自治体の取組内容

- 【1年目】蒲郡市・知立市
- 【2年目】豊川市・東浦町
- **【3年目】春日井市**

本日までの取組について

春日井市

経緯

令和４年度

・プローブデータを抽出し、豊橋技術科学大学 松尾准教授の協力のもと、道路管理者等と対策候補箇所を検討。
・現地調査を実施し、具体的な対策内容を決定。

第１回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R4.8.23）

トヨタ自動車株式会社のプローブデータ （リンク情報の通過量と速度分布と ABS の情報）及び豊橋技術科学大学の モービルアイのデータ （歩行者衝突警報）のデータを活用し、豊橋技術科学大学 松尾准教授の協力のもと、自治体の道路管理者等と現地調査候補箇所を検討。

第２回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R4.12.19）

現地調査箇所（５箇所）を決定。

現地調査（R5.2.13）

具体的な対策内容を検討。

第３回プローブ情報活用ワーキンググループ会議（R5.3.10）

現地調査の結果・対策内容を報告。

令和５・６年度

・春日井市道路管理者・愛知県警察本部交通規制課 等による交通安全対策を実施。

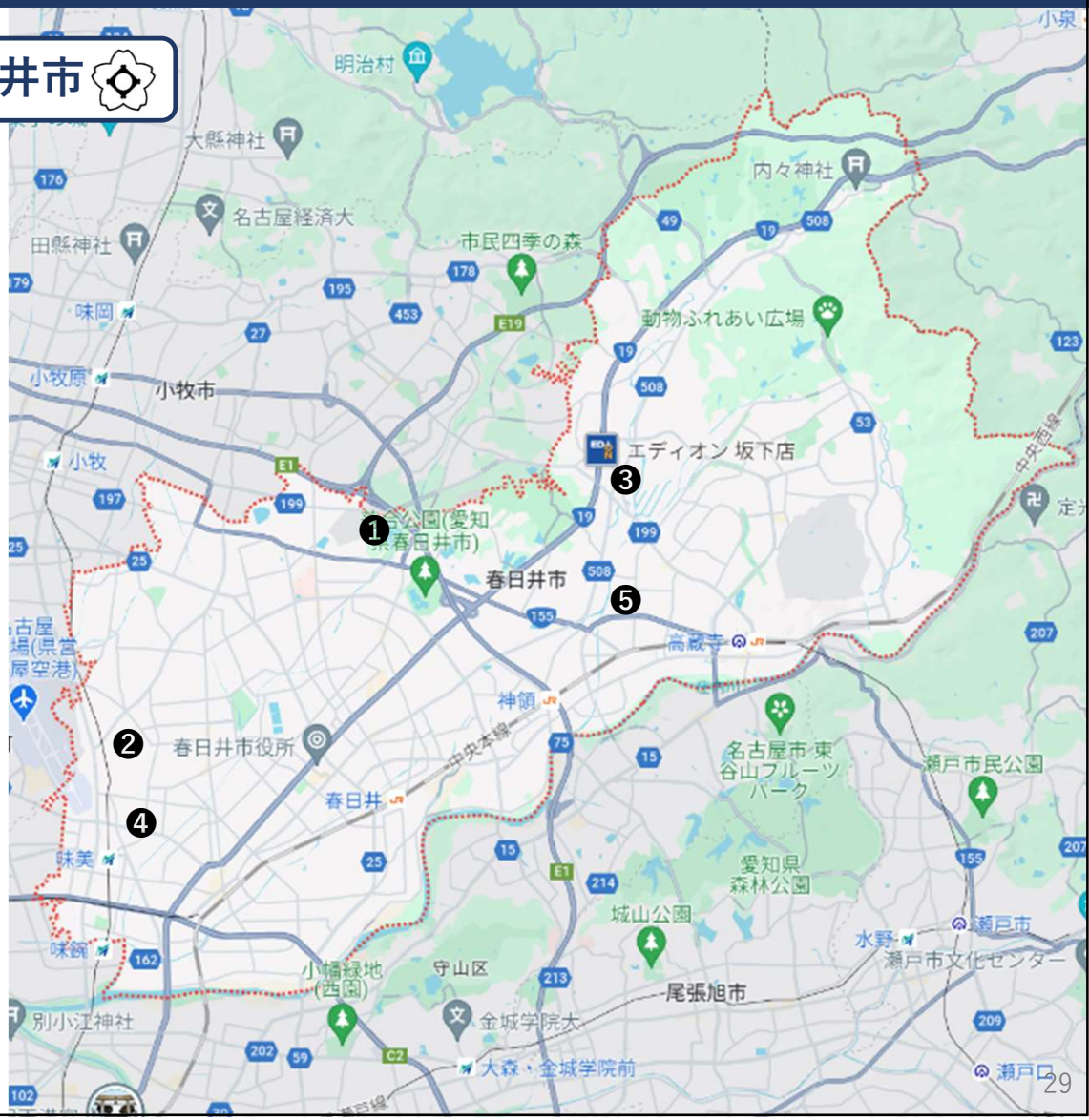
令和７年度

・プローブデータを分析し**効果検証を実施予定**。トヨタ自動車(株)のプローブデータを購入済。

3． 対策の実施状況について

春日井市

❶	下原町八田川付近市道	完了
❷	牛山町天神橋付近市道	完了
❸	坂下町２丁目地内交差点	実施なし
❹	美濃町３丁目地内交差点	完了
❺	松本町２丁目付近市道	完了



効果検証の方針について

春日井市

対策箇所ごとのデータの種類

	選定箇所	選定理由	特記事項		効果検証データ
①	**下原町八田川付近市道** 対策完了	**30km/h規制**。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。**車のスピードが速い**。	**30km/h超過率**が高い。 通過台数が多い。	→	**車速** **一時停止率**
②	**牛山町天神橋付近市道** 対策完了	速度規制なし。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。**車のスピードが速い**。通学路。	**ABS発生率**が高い。 通過台数は少ない。	→	**車速** **ABS発生率**
③	坂下町２丁目地内交差点 実施なし	40km/h規制。県道～国道の主要道路。幅員が狭い。 通学路（横断歩道）。横断歩道で車が止まらない。	近隣道路において、ABS発生率が高い。（北西進道路）	→	－
④	**美濃町３丁目地内交差点** 対策完了	**30km/h規制**。事故多発（車両同士）。 安全対策の要望が多い。	近隣道路において、**30km/h超過率**が高い。（南北道路）	→	**一時停止率**
⑤	**松本町２丁目付近市道** 対策完了	**30km/h規制**。幅員が狭い。抜け道。 朝の交通量が多い。大学生・高校生の自転車が多い。 地元から、当路線の対策（通過する車の量を減らす、北側の県道に迂回させる）を求められている。	通過台数が多い。（西進道路） 交通事故が多発している	→	**車速**